

# 中学生からのきょうだいの日

2004年から始めた「きょうだいの日」

何年も続けていくうちに、小学生だったきょうだいさんは、中学生になり、高校生になり…。「きょうだいの日」はもちろんいつになってもきょうだいさん大歓迎!ぜひ来てね!なのですが、きょうだいさんの方から「来年から中学生になるので卒業します」とあいさつに来てくれることがだんだん増えていきました。

〇〇ちゃんどうしているのかな?△△くん元気かな?また会いたいな…

そんな気持ちをおさえきれなくなった時、思いつきました。「大きくなったきょうだいさんに会える日をつくろう!」そうして生まれたのが「きょうだいの日番外編」でした。

1番最初の企画は「みんなで卓球しようよ」でしたが、参加者は0人。案内を送っているきょうだいさんは10人にも満たなかったため、これは想定内の範囲内でした。「0人の回がきつと続くけれど、大きくなったきょうだいさんが気が向いたらふらっと来て懐かしい気持ちになれるところ、大歓迎される場所、つくってこようよ」と番外編を続けていくことは決まっていました。

ところが第2回の「クリスマスカード大会」に、数年ぶりの高校生のきょうだいさんが来てくれたのです!すっかり大きくなって、敬語で話してくれたりして…くすぐたくて、懐かしくて、うれしくて、胸がいっぱいになりました。「いつもチラシとか年賀状とか送ってくれてたから来てみようと思って」と話してくれたことで、「いつまでも案内を送ったら困るかな、気持ち悪いな…」と悩んでいた気持ちも、ぐっと軽くしてもらいました。

きょうだいの日あるある(?)

嬉しさのあまり1時間おきに「何年生になったんだっけ?」と聞くシブレット



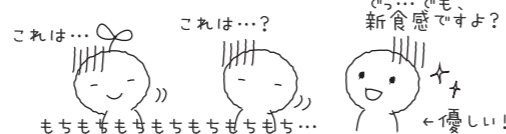
高2です!  
(何度も笑顔で答えてくれる)



1人、また1人、ひさしぶり!のきょうだいさんが来てくれました。こんなに嬉しい日、いつまでも「番外編」じゃなくて、中学生以上のきょうだい向けの「きょうだいの日」もつくろうと考え、「番外編」は「中学生からのきょうだいの日」として、年2回ずつこじんまりと開いていくことになりました。

中学生きょうだいさんのアイデアをうけて、夏はみんなでたこ焼きパーティーをします。

このたこパ、第1回目は「たこ焼き粉の袋のレシピの分量を読み違える罠」と「はかりの目盛を読み違える罠」の組み合わせにより、なんだかもちもちした半球状のなぞの焼きものができるという事件が起こったりもしつつ…



冬は、小学生のきょうだいさんと、おもちゃの部屋にあそびに来てくれた子どもたちを送るクリスマスカード作りを手伝ってもらっています。

5回目になる「中学生からのきょうだいの日」では、中学生の女の子が2人来てくれて、カードが完成した後、焼きドーナツと一緒に焼いてデコって楽しめました♪たこ焼きもおもしろいけど、ドーナツもおもしろかった!もっとおもしろいことしたいよね!

これからも、ぼちぼちこじんまりゆるゆるぐだぐだ楽しい場所、ちょっと笑いたい時、ちょっと疲れちゃった時、ふらっとあそびに行ける場所、来なくても、「今頃シブレットがすべってるんやろなー」「小学生の頃一緒にあそんだ人たち元気かな?」と、ふっと思ひ浮かべられるような場所として、守っていきたくてと思っています。

いつになってもシブレンジャーはみんなの味方だよ。いつでも応援しているからね。



来てくれたきょうだいさん、  
「中学生からのきょうだいの日」を  
一緒につくってくれて、  
ほんとにほんとにありがとう!